

III 教養講座

14 国産サフランで絹布を黄色 ～橙色に染める

前期公開講座パンフレットNo.24

会場	本学当別キャンパス 北方系伝薬物研究センター 石狩郡当別町金沢1757
定員	15名(抽選)
受講料	2,500円

講師
角 寿子
染織家
NPO法人アースネットワーク
理事長

高上馬 希重
本学薬学部准教授

世界各国で香辛料、香料、染料に使われてきたサフランの雌しべは、日本薬局方収載の生薬です。色素のクロシンは黄色、クチナシの実と同じです。各自が貴重なサフランの雌しべから色素を抽出し、それぞれの絹布を黄色～橙色に染めます。

受付終了 **10月12日(土)**
12:00～15:30

当別町共催セミナー④

道民カレッジ連携講座 共-1

当選者の発表は、受講証の発送をもって代えさせていただきます。

15 堀田清の薬草帖 外伝②

前期公開講座パンフレットNo.25

会場	本学当別キャンパス C-21講義室 石狩郡当別町金沢1757
定員	100名

講師
堀田 清
本学薬学部准教授

2018年4月から北海道新聞朝刊「くらし面」に連載中のコラム「堀田清の薬草帖」について、掲載しきれなかったことをお伝えします。前期から続くシリーズであり、今回が2回目となります。初めての方でも理解できる内容です。

受講料 無料 **10月27日(日)**
9:30～11:00

漢方・薬用植物研究講座⑥

道民カレッジ連携講座 主II-2

※11:30～13:30に植物観察会があります。必要に応じて昼食を持参ください。

認定薬剤師研修対象講座(希望者のみ。受講料2,000円。2単位)

16 生きよ 生きよの こえがきこえる 一病があるから 素敵な人生一

前期公開講座パンフレットNo.26

会場	本学札幌サテライトキャンパス 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12F
定員	100名

講師
下田 憲
けん三のことは館クリニック
院長

1996年当時、医師のいない地域であった南富良野町の町立診療所で診療を始めました。東洋医学と心療内科を軸とした診療をしています。また「ことば」を墨書でしたため、作品を診療所に展示し「けん三のことは館クリニック」を開設しました。当日は、「ことば」を紹介しながら、講演を行いたいと思います。

受講料 無料 **2020年
2月9日(日)**
13:30～15:40

漢方・薬用植物研究講座⑦

道民カレッジ連携講座 主II-2

認定薬剤師研修対象講座(希望者のみ。受講料2,000円。1単位)

講師紹介

▶角 寿子(すみ ひさこ)

北海道大学科学技術コミュニケーター養成プログラム研修科修了。84年北の藍染織工房設立代表、94年アースネットワーク創立、02年NPO法人アースネットワーク発起人、理事長就任、04年天然染料顔料会議発起人、事務局局長就任。
99年「発酵染と鉱泉媒染による植物染」ノーステック財団一般道民賞受賞、同年「EZOTAISEI」フランスで研究発表。99～17天然染料国際会議にて研究発表・講習・出品。07～09年北海道文化財団と「天然の色展」共催、07年～国内外企業やNGOとの染色技術開発に従事する。
○専門研究分野/藍染料の研究

▶高上馬 希重(こうじょうま まれしげ)

1967年生まれ。広島大学大学院医学研究科分子薬学系博士課程修了。97年国立医薬品食品衛生研究所薬用植物研究場研究員、01年理化学研究所植物科学研究センター研究員、03年東京大学大学院農学生命科学研究科助手を経て、07年より現職。
○専門研究分野/生薬学、薬用植物学

▶堀田 清(ほりた きよし)

1958年生まれ。80年東日本学園大学(現北海道医療大学)薬学部卒業。北海道大学大学院薬学研究科博士課程修了。85～95年北海道大学薬学部助手、米国コロラド州立大学化学科博士研究員を経て本校就任。99年～03年まで同薬学部附属薬用植物園園長。07北海道医療大学発ベンチャー企業(株)植物エネルギー設立(代表取締役社長)。専門は、漢方を使った病予防学、北海道医療大学北方系生態観察園の里山化、乾燥ダイコン葉を使った手作り石鹸の開発。著書に、「植物エネルギー 北方系生態観察園の四季(北海道新聞社、08年)」、「びびか松山湿原の植物エネルギー((株)植物エネルギー、13年)」、「植物エネルギー 北海道医療大学の森(株)植物エネルギー、15年)。15年北海道新聞日曜版の「ほっかいどう知究人」で紹介される。17年えりも観光大使。18年4月～北海道新聞に植物写真コラム「堀田清の薬草帖」連載中。薬学博士。

▶下田 憲(しもだ けん)

1947年生まれ。北海道大学医学部卒業。高校卒業後、西日本を旅し、翌年に北海道大学医学部入学。74年同卒業。4年間の研修を経て78年、離島の公立病院勤務。83年、北海道過疎地の公的病院で勤務。96年、南富良野町立診療所。00年、常設展示館「けん三のことは館」を開設。04年、「けん三のことは館クリニック」へと改修し、独立。現在に至る。クリニックでの診療のほか、地域内にて積極的に往診を行っています。
14年日本医師会「第2回日本医師会赤ひげ大賞」受賞。著書に「地域をつぐむ医の心」「ちゃんとこうして生かされている」など。
○専門研究分野/地球環境学、環境食科学

17 子どもの虐待防止に取り組む第1歩 —理解と支援に必要な2つの知識—

会場	本学札幌サテライトキャンパス 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12F
定員	100名

講師
澤田 いずみ
札幌医科大学
保健医療学部看護学科
准教授

子どもの虐待をめぐる痛ましい報道が後を絶ちません。児童相談所だけでなく地域全体でその防止に取り組んでいくことが大切です。今回は子育てに困難を抱える家族を理解し支えるために必要な2つの知識についてお話したいと思います。

受講料 無料 **2020年
2月15日(土)**
14:00～16:00

臨床心理学科同窓会セミナー

道民カレッジ連携講座 共-4

講師紹介

▶澤田 いずみ(さわだ いずみ)

札幌医科大学衛生短期大学看護学科卒業、精神看護学修士、医学博士。小児科・精神科で看護師をした後、現大学に勤務。北海道子どもの虐待防止協会の活動を続けながら子育てとメンタルヘルスに関する支援・研究活動を続ける。
著書に「子ども虐待と家族—「重なり合う不利」と社会的支援」(松本 伊智朗著、編集)、「第5章養育者がメンタルヘルス問題を抱える虐待家族への支援」、明石書店、2013
北海道子どもの虐待防止協会運営委員、NPO法人トリプルPジャパン理事
○専門研究分野/精神看護学

札幌サテライトキャンパスのご案内 アスティ45 12F(札幌市中央区北4条西5丁目)

JR・地下鉄札幌駅から徒歩3分の「アスティ45」12階にあります。卒業生や一般の方を対象とした生涯学習事業や同窓会活動、学会活動などに利用されており、職を持ちながら学ぶ社会人の大学院生に配慮した夜間講義も開講されています。社会に開かれた大学として、一般の方にも広く学習機会を提供する環境づくりに努めています。

